



まっすぐ、道徳授業

第1回道徳授業そうぞうHouse(4/28)を終えて

開いてよかった!!

参加してよかった!!

4月28日土曜日、東浦町文化センターで、第1回道徳授業そうぞうHouseを開催しました。ゴールデンウィークの初日。道徳の授業づくりの学びの場にどれだけの人が集まってくれるのだろうかと心配していましたが、その心配もすぐに消し飛びました。“学ぼう!”という意欲の高い人はたくさんいました。参加者総数27名。予定していた部屋はいっぱいになりました。そして、とても雰囲気の良い学びの場となりました。

まずは、遠くから参加してくださった先生の感想をお聞きください。

「来てよかったあ」今の私の心の中です。

東浦の地区がどれだけ進んでいて、どれだけ熱意のある先生がいるのか、全く分からないまま今日参加させていただきましたが、私の目から鱗が落ちました。それも、一枚や二枚ではありません。何十枚も落ちました。

中村先生から一番学べたのは、道徳の基礎です。それも良い授業をつくるためのエッセンスが、これでもかと凝縮されている基礎でした。今日いただいた緑の冊子をバイブルに、これから授業を考えていこうと思います。

竹内先生から一番学べたのは、達人の授業です。特に空気感を体感できたのは、大きかったです。隣の方とも、もっともっと話したいと思う感覚を味わえました。発問の言葉、投げかけ方、大変に勉強になりました。

月1回では足りないです。2時間では足りないです。もっともっと勉強したいと思いました。どうもありがとうございました。

〔TM先生・岩倉市中学校教員〕



この4月から、小学校で「特別の教科道徳」がスタートしました。そして、来年度からは中学校でもスタートします。今でも「道徳の教科化」に対する賛否は様々ありますが、決まった以上、それに従ってやっていかなければなりません。しかし、教科化に向けたこの1、2年の道徳の授業を見てみると、これで本当にいいのだろうかと思えるような授業がたくさんありました。これではいけない。今こそ、本物の道徳の授業をつくり合う“学びの場”が必要だと考え、この「道徳授業そうぞうHouse」を立ち上げました。

2時間半に及ぶ会を終えて、とても爽快な気分を味わいました。学び合いの場(研修会)を開いてこんな爽やかな気分を味わうのは久しぶりです。「そうぞうHouse」を開いて良かったと思いました。

会に参加できなかった人との情報共有のために、そして、参加してくださった方には、“学びの振り返り”をしていただくために、会の終了後、そして後日、お寄せくださった感想をご紹介します。

★参加者の声★

今日はありがとうございました。あつという間の2時間半でした。それくらい聞きやすい内容でした。

このそうぞう House を受けていなかったら、道徳の教科化について深く考えることなく、そのまま流れていってしまうと思いました。これから、各学校で方針もある中で、どのように読み物資料を扱い、発問を考え、対話をしていくのか考え、学んでいきたいです。

次回は運動会で行けませんが、テレビで問題としている点がどのようにズレているか気になるところです。

また、やはり模擬授業は準備を体感できるので、道徳の楽しさを感じることができました。「副詞」や「初めと後の良かったを比べること」、そして、「対話力」など、たくさんのエッセンスがつかっていました。

4月から教員になりましたが、知っているのとやるのとでは違い、なかなか上手く授業がいかないなと感じています。この研修会で少しでも学び、“また頑張ろうという”気持ちをもらって、授業力を向上させていきたいです。

【UJ先生・常滑市小学校・新任】

昨年、現職で研究授業を大失敗した要因が、中村先生の講話を聞いているうちにどんどん明確になり、さらに自分の中に深く刻まれました。深い教材理解、「どこを」「どう聞かか」を考えるということの重要性を感じました。また、授業のコーディネート力は、日々磨いていかなければいけないと感じ、自分のエネルギーになりました。

より深く考えさせる切り返し(何度も～しだいに～ぼうっと)や、子どもたちの心を揺さぶる発問を用意できる実力を早くつけて、子どもたちに「今日の道徳楽しかった」と思ってもらえる授業がしたいです。

【HK先生・東浦町小学校】

道徳を通して学級をつくっていききたいという想いをもって、本日参加させていただきました。教科化され、評価はどうか、教科書があることで授業をすることが息苦しくなるのではと考えていました。しかし、道徳性の高まりやすい学級をつくること、道徳的な行為がしやすい学級をつくるということを意識していこうと感じることができました。

模擬授業を実際に受けさせていただき、子どもの意見の受け止め方、返し方、間のとり方など、体感しなければ分からないことがたくさんありました。

すぐにはうまくいなくても、この体験は必ず役に立たせたいと思いました。忘れないうちに、早速授業をつくりたいと思いました。ありがとうございました。

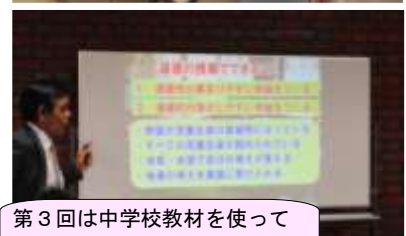
【IM先生・名古屋市緑区小学校】

- ・ 「何を問えば」。中心発問の重要性に気付けた。自分の授業づくりでより重きを置いていきたい。
- ・ 「道徳性の高まりやすい学級」「道徳的行動をしやすい学級」にしていくことを自分も心がけていきたい。
- ・ 中心発問で、「副詞」に注目するのは知らなかった。考えるポイントとして覚えておきたい。
- ・ 把握の発問によってねらいに迫れると思った。この発問を作り、そして子どもに深めさせるようにしたい。
- ・ 竹内先生の授業をもっと受けたいと思った。学級担任として、先生のような温かい反応をしていきたい。
- ・ 竹内先生の略案を自分も作ろうと思った。「補助」の部分の準備を自分もしていきたい。ありがとうございました。

【KS先生・大治町小学校】

初めて道徳の会に参加させていただいて、いろいろなことを学ばせていただきました。小学校の先生が多いので、難しいかもしれませんが、中学校の教材を取り上げていただけるとうれしいと思います。あとは、効果的な板書の方法などがあったら教えていただきたいです。本日はありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

【TN先生・東浦町中学校】



第3回は中学校教材を使って模擬授業を行う予定です。



本日のお話で「自分は勘違いしているな」と感じる所が多くありました。特に、発問を考えることの重要さです。私は、手立てを考えることに重きを置いていたのではないかと感じました。つまり、授業者のための授業をしていたということです。まずは、今後の道徳の授業で「資料を読み込むこと」「中心発問をしつかり考えること」を大切に組みたいと思います。まず悩んで、それから実践していこうと思います。ありがとうございました。【MR先生・東海市小学校】



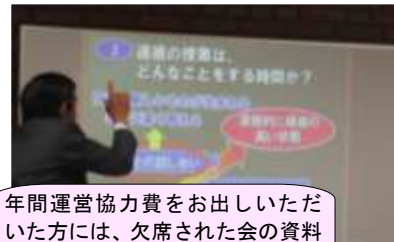
中村先生の話は、文科省の話の解釈もあり、大変分かりやすかったです。疑問に思っていたことのいくつかが、なるほどと理解できました。授業の作り方の基本を分かりやすく教えていただきました。



竹内先生の模擬授業は、対応・板書・答えさせ方など、勉強になりました。ありがとうございました。【FT先生・東浦町中学校】

第1回の内容がとにかく濃い。

中村先生の話は、道徳の授業で大切なこと、授業づくりのポイントなどが分かりやすく、何度聞いても勉強になるなど、改めて感じた。竹内先生の模擬授業は、授業の中での「対話」の仕方がよく分かりました。目の前でやっていただけると、本当に伝わります。ポイントを解説しながら進めてくださったので、とても勉強になりました。



次回、学校の運動会で行けません。残念です。資料だけでもいただけるとありがたいです。ありがとうございました。

【IT先生・大府市小学校】

道徳の授業は今まで3回行いましたが、全く手応えがなく、子どもたちに申し訳ない気持ちになってしまっていました。今日は、模擬授業を受け、理論が実践されていて、とても参考になりました。

続けて今後の授業では、道徳的価値を高めることを意識して、一歩ずつ進めていきたいと思います。発問の仕方や授業の進行、テンポまでも参考になったので、具体的に取り組んでいきたいと思います。



年間運営協力費をお出しいただいた方には、欠席された会の資料を後日お届けします。

【SS先生・東浦町小学校・新任】

第1回道徳授業そうぞう House に参加させていただいて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

道徳授業クライシスについて理解でき、それを食い止めるためには、やはり教師の授業力が必要だということを改めて実感しました。道徳の授業内でできることは限られ、道徳性の高まりやすい学級をつくるのが大切というお話が印象に残りました。道徳授業を基に、他教科や日常生活で道徳性を高めていける授業が行えれば良いと思いました。

NHK クローズアップ現代の道徳の特集を見ていた時に、教師が道徳的価値をしつかりと理解できていなかったり、資料で教えた道徳的価値と授業で行き着く先の価値が異なってしまうといったことが印象に残りました。ただ教科書を読んで教えていたのでは、児童の道徳的価値を高めることは出来ず、教師の価値の押し付けになる危険があると思います。資料の内容をしつかりと理解し、中心発問を核として授業づくりを行なっていきたいと思いました。

道徳には複数の道徳的価値が混ざっているから難しい、色々な考え方があって当然で否定してはいけない。道徳授業では児童から様々な意見があがるため、求める道徳性の高まりへ持っていくことができるかがとても不安です。

竹内先生の模擬授業では、児童の発言から上手く言葉を抜き出しながら、家族愛という価値の高まりへと導いていました。この技術は簡単に身につくものではないのですが、何回も授業を経験して、身に付けていきたいと思いました。授業計画の際には、資料から考えられる価値の把握や、児童の意見を想定することが大切だと感じました。そして、授業では児童がそれぞれの考えの中で価値を高めることができればいいのかと思いました。ありがとうございました。【AHさん・名城大学学生4年】

そうぞう HOUSE に参加させていただきありがとうございました。

道徳って難しい。というのが率直な感想です。でも、難しいからこそやりがいがあるのだと思います。

この前、1回目の道徳をやりました。子どもたちからたくさんの意見が出て、考えてほしいことはある程度考えさせることができたかなと思うものの、道徳性が高まったという実感はつかめませんでした。

私の道徳は自分がこうなりたいと思った通りのルールに乗っている意見だけを抽出し、授業を展開しています。それではとても子どもたちの道徳性は高まらないと痛感しました。これから何回も行う道徳の中で、道徳性が高まったと思える授業をできるように勉強していきたいと思っています。

学びの多い時間でした。ありがとうございました。次回も楽しみにしています。

【KH先生・東浦町小学校・新任】

本日は刺激的な1日をありがとうございました。久しぶりにたっぷり人の話を聞き、考えたので、疲れしました(笑)。そして、ガツガツ学んでいた(?笑)学生の頃とはまた違った気持ちで話を聞けたので、とても有意義な時間でした。

しかし、ああいった積極的に学ぶ場に参加したり、先生の話の聞くときと凄く不安を感じてしまいました。我が子が学ぶ意欲のない、今まで通りの"退屈な"道徳の授業をする先生に当たったら、と思うと…です。ゾッとします。

会社の先輩で、小学生のお子さんを持つ方と話した時「正直、道徳が教科になるってどういうこと?うちの子は何を評価されるの?そもそも先生自身の道徳心は子どもたちを評価できる程高いものなの?ニュースになるような事件を起こす先生がたくさんいるのに…?」と、不安(不満?)を口にされていました。そりゃそう思うよな…と思いました。

現場で働く先生方も道徳の授業ってどうしたらいいんだろう、と不安に感じるとは思いますが、親も不安ですね。この不安感は簡単に解決出来る事ではないと思いますが、今日あの場にいた事で感じられたこの「不安感」や「焦り」は決してマイナスな事ではないと思っていますし、今日感じたことを大切にとっておきたいなあと思います。

まとまりの無い感想ですが、、また次回以降も出来るだけ都合をつけて参加していきたいです! よろしく願いいたします。

【SNさん・社会人(一般企業)】

‘自分事’として考える、改めて聞いてスッキリしました。

6月の学校訪問の特設で道徳をやるクラスの指導案検討会がありました。(資料:5年、かれてしまったヒマワリ)「これから係や委員会ではどんなふうにしていきますか」が主発問として書かれていました。部会にいた15人中14人が賛成していました。「これならいろんな意見が出るね」「話し合いがよくできそう」「盛り上がって楽しそうだね」流れは指導案に則ったものだそうです。(本物は見ていません。)

【OT先生・半田市小学校】

〈中村のつぶやき〉…★「自分ならどうする?」と問わなければ自分事にならないわけではないというのが中村の考えです。「道徳性の高まり」よりも、「いかに話し合いを活発にするか」の方が優先されていないかというのが、気懸りな点ですね。



最後に、模擬授業者
竹内稔博先生の声
をお届けします。



『感動の研修会』

冒頭の挨拶でもお話しさせていただきましたが、GWの初日、外は最高の行楽日和、そんな時に道徳を学ぼうと集まってくださった27の方に、まずすごく感謝です。次に、みなさんの志の高さ、食い入るような表情、学ぶ姿勢に触れられ、あの空気感を感じることができたのが、自分の財産です。授業や講座をさせていただくと、空気感、すごく感じます。すぐに分かります。

この研修会は最高です。空気感のおかげでうまくいく、学びが深まるってこと、授業でもありますよね。クラスでもありますよね。そんなすてきな空間、時間を過ごさせていただきました。

第2回も楽しみです。

また、中村先生の講座。圧巻でした。数千円払ってでも読みたい「道徳の本」でした。私も、東浦中学校で、あれをもとに、どんどん広めたいと思います。ありがとうございました。

「道徳授業そうぞうHouse」は、年間10回の開催を予定しています。今後の開催予定は、次の通りです。

第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
5/26(土)	6/23(土)	7/21(土)	9/29(土)	10/27(土)	11/24(土)	12/22(土)	1/26(土)	2/28(土)

◎ 第2回の詳細については「開催案内」をご覧ください。／ ◎ 開催できない月があった場合は、3月にも開催します。